

民主クラブ

松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司
橋本 智子・小山 征三

岩田 薫 議員

★IRの今後について、鈴木知事がIRに挑戦するが、申請を断念したこと、岩倉市長の感想やMAプラットホームへの影響、今後の市の取り組みについて質問しました。岩倉市長は「非常に残念」と「つづいて」とし、今後判断に至った経過など北海道に確認するつもりです。MAプラットホームについては、IRとは異なる事業であることから影響は少ないとしました。市の今後の体制や取り組みは、北海道の説明を受けた後に協議検討するとの考えを示しました。

【一般質問通告内容】

- 1 政治姿勢
 - (1) IRの今後について
 - (2) JR北海道単独維持困難路線区について
 - (3) 2020年度予算について
- 2 安全・安心のまちづくり
 - (1) 大雨対策について



橋本智子 議員

★国際リゾートエリアを含む東部東地域の環境について質問しまし

た。IRの計画は当面なくなりませんが、国際リゾート構想は継続しており、この地域の自然環境の調査について今後の展望などを聞きました。

★20年施行される改正児童虐待法の本市での取り組みについて質問しました。

★男女模範議会について、議会や市政への関心向上のためにも今後の継続と取り組み状況について聞きました。

【一般質問通告内容】

- 1 政治姿勢
 - (1) 核兵器禁止条約について
- 2 国際リゾートエリアを含む東部東地域の環境について
- 3 児童虐待防止と対策について
- 4 男女模範議会について



佐々木修司 議員

★人口減少対策として本市への移住を促進するため、夏場の冷涼な気候を前面に出した長期滞在（お試し移住）の推進を提案しました。市側は、一時道内の多くの自治体

で取り組んだが実際の移住にはつながらず廃止した自治体も多くあることから、令和元年度から開始した「移住ガイド（移住検討者の要望をもとに移住後の生活をイメージできるよう職員が市内巡覧を計画し案内するもの）」に取り組むことなどにより、移住促進を図っていきたいとの考えを示しました。

多職種連携の情報交換は幅広い視点から、情報共有する上でニーズが求められており、高齢化が進む苫小牧での活発な議論を進めることが重要と指摘をしました。

市側は、多職種による理解や考えの相違を減らし、共通理解を少しでも増やすことが重要との考え方を示しました。

【一般質問通告内容】

- 1 政治姿勢
 - (1) 苫小牧国際リゾート構想について
 - (2) 苫小牧駒澤大学について
- 2 市職員の確保について
- 3 移住、定住、長期滞在の促進について



松尾省勝 議員

《厚生委員会での質疑》

★苫小牧市立病院の新改革プラン評価報告があり、医療従事者の確保・育成の評価から医療・介護の多職種連携について質問しました。



多職種連携の情報交換は幅広い視点から、情報共有する上でニーズが求められており、高齢化が進む苫小牧での活発な議論を進めることが重要と指摘をしました。

市側は、多職種による理解や考えの相違を減らし、共通理解を少しでも増やすことが重要との考え方を示しました。

市側は、多職種による理解や考えの相違を減らし、共通理解を少しでも増やすことが重要との考え方を示しました。

小山征三 議員

《総務委員会での質疑》

新苫小牧市地域情報計画（案）が示されたことから、公文書管理など事務効率化について質問しました。庁内の決裁手続きは、現在も紙ベースで行い保存期限後に廃棄しているため公文書の電子化を求めました。市側は、令和元年4月から人事給与システム更新に合わせ、時間外勤務と休暇取得申請に電子決裁を採用。今後、電子決裁を拡大する考えを示しました。また、公文書のバックアップデータはサーバーに保存されていることがわかりました。

